

日本周産期・新生児医学会  
専門医制度

母体・胎児専門医  
資格更新認定申請書

2023年3月

一般社団法人  
日本周産期・新生児医学会

## 1. 母体・胎児専門医資格更新認定申請書

受理年月日 年 月 日(事務局記載)

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会  
理事長 殿

私は母体・胎児専門医認定の更新をしたく、所定の必要書類を添えて申請します。

ふりがな						
申請者氏名 (認定証記載名)						
(必須)E-mail*						
自宅住所		〒		-		
勤務先	名称			所属科名		
	住所	〒		-		
電話			-		-	
専門医 登録番号		専門医 取得年	(西暦)	年	学会 会員番号	
専門医期間中の職歴						
期間(西暦)	施設名			診療科および職位		
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						
年 月～ 年 月						

- 各種連絡に使用するので、必ず使用できる E-mail を記載する。gmail 以外のアドレスが望ましい。施設を異動した際は、会員ログイン後の「マイページ」から勤務先・E-mail 等を登録する。
- 認定証は、会員情報に登録されている「送付先」に送付する。申請書提出後に異動した場合は、会員ログイン後のマイページあるいは「会員登録の変更」内の「変更オンライン登録」から登録の変更を行い、速やかに事務局に連絡すること。

## 2. 診療実績報告書(母体・胎児)

経験症例 (指導した症例を含む)	経験症例
(1) 正常分娩の立会い	有 ・ 無
(2) 帝王切開 (うち緊急帝王切開)立会い	有 ・ 無
(3) 合併症妊娠の診断と治療	有 ・ 無
(4) 異常妊娠の診断と治療	有 ・ 無
(5) 異常分娩における母体の管理と治療	有 ・ 無
(6) 産褥異常の管理と処理	有 ・ 無
(7) 産科感染症の管理と処置	有 ・ 無
(8) 産科麻酔 (無痛分娩含む)	有 ・ 無
(9) 健常新生児の管理	有 ・ 無
(10) ハイリスク妊婦・胎児に対する診断・管理・手術	有 ・ 無
(11) 胎児異常の診断と管理	有 ・ 無
(12) 胎児異常に対する治療	有 ・ 無
その他：行政，海外支援があれば下記に具体的に記入してください。	

## 【記載上の注意】

施設の異動に関わらず，5年間の症例の有無を記入する。

## 3. 研修単位となる業績一覧

## 1) 取得単位集計表

【必須単位】				
[ 1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表 ]				
(1) 日本周産期・新生児医学会学術集会	10 単位	参加	回	単位
	10 単位	発表	回	
(2) 周産期学シンポジウム	10 単位	参加	回	単位
	10 単位	発表	回	
(A)	(1) ~ (2) の合計 (合計で <b>30 単位以上</b> が必須です)			単位
【その他の単位】				
[ 2. 本学会が承認した学会または研究会の参加・発表 ]				
(3) 日本小児科学会, 日本産科婦人科学会, 日本小児外科学会, 日本小児外科学会 秋季シンポジウム, 日本麻酔科学会, 日本新生児成育医学会, 日本新生児成育 医学会教育セミナー, 日本母体胎児医 学会, 日本糖尿病・妊娠学会, 国際学会	5 単位	参加	回	単位
	5 単位	発表	回	
(4) 基本学会の地方会 研修単位となる学会・研究会	2 単位	参加	回	単位
	2 単位	発表	回	
[ 3. 学術論文 ]				
(5) 筆頭著者または corresponding author として発表 (要査読)	10 単位		編	単位
(6) 共著者として発表 (要査読)	5 単位		編	単位
(7) 筆頭著者として発表	5 単位		編	単位
[ 4. 講習会 ]				
(8) 蘇生法インストラクター(補助は除く)	5 単位		回	単位
(B)	(3) ~ (8) の合計			単位
(A) + (B)	総合計 ( <b>50 単位以上</b> 必要です)			単位

## 【記載上の注意】

- 取得単位となる発表及び論文は、周産期・新生児学に関連するものに限る。
- 必須単位に該当する学会の参加・発表は、【必須単位】「1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表」欄へ記入する。必須単位でない学会または研究会での参加・発表は【その他の単位】の 2~4 に記入する。
- 学会または研究会での発表は筆頭演者に限る。
- 申請できる期間は前回の更新年の 8 月 1 日から今回の更新年の 7 月 31 日までのものとする。ただし初めて更新する場合は、受験年の 6 月 15 日以降の参加・発表について申請できる。



3) 学術論文刊行記録(単位として申請する場合のみ提出)

著者名, 論題, 誌名, 発行年, 頁の順に記入する.	
1	
2	
3	
4	
査読の確認	査読を受けていることを確認いたしました. 西暦        年    月    日        受験者名 _____

**【記載上の注意】**

1. 査読の確認欄は, 査読が必要な論文を単位として申請する場合のみ記入する.
2. 別刷(コピー可)を1部添付する.
3. 掲載予定の論文は, 受理票及び論文のコピーを提出する.
4. 記載する論文は最多4編までとする.

4) 新生児蘇生法講習会インストラクター記録簿(単位として申請する場合のみ提出)

インストラクター認定番号		— —	
開催日	開催地	コースの種類	単位
合 計			単位

**【記載上の注意】**  
 インストラクターをした場合のみ記入できる.

<記入例>

1. 取得単位集計表の記入例

【必須単位】				
[ 1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表 ]				
(1) 日本周産期・新生児医学会学術集会	10 単位	参加	2 回	40 単位
	10 単位	発表	2 回	
(2) 周産期学シンポジウム	10 単位	参加	1 回	10 単位
	10 単位	発表	回	
(A)	(1) ~ (2) の合計 (合計で <b>30 単位以上</b> が必須です)			50 単位
【その他の単位】				
[ 2. 本学会が承認した学会または研究会の参加・発表 ]				
(3) 日本小児科学会, 日本産科婦人科学会, 日本小児外科学会, 日本小児外科学会 秋季シンポジウム, 日本麻酔科学会, 日本新生児成育医学会, 日本新生児成育医学会教育セミナー, 日本母体胎児医学会, 日本糖尿病・妊娠学会, 国際学会	5 単位	参加	2 回	10 単位
	5 単位	発表	回	
(4) 基本学会の地方会 研修単位となる学会または研究会	2 単位	参加	1 回	4 単位
	2 単位	発表	1 回	
[ 3. 学術論文 ]				
(5) 筆頭著者または corresponding author として発表 (要査読)	10 単位			10 単位
(6) 共著者として発表 (要査読)	5 単位			5 単位
(7) 筆頭著者として発表	5 単位			5 単位
[ 4. 講習会 ]				
(8) 蘇生法インストラクター(補助は除く)	5 単位		2 回	10 単位
(B)	(3) ~ (8) の合計			34 単位
(A) + (B)	インストラクターとして参加した場合のみ 総合計 ( <b>50 単位以上</b> 必要です)			84 単位

【記載上の注意】

1. 取得単位となる発表及び論文は、周産期・新生児学に関連するものに限る。
2. 必須単位に該当する学会の参加・発表は、【必須単位】「1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表」欄へ記入する。必須単位でない学会または研究会での参加・発表は【その他の単位】の 2~4 に記入する。
3. 学会または研究会での発表は筆頭著者に限る。
4. 申請できる期間は前回の更新年の 8 月 1 日から今回の更新年の 7 月 31 日までのものとする。ただし初めて更新する場合は、受験年の 6 月 15 日以降の参加・発表について申請できる。



## 2. 学術集会参加記録簿の記入例

参加日(西暦)	学術集会出席証明書貼付	必須単位	その他の単位
2017. 7. 15	第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 10 単位	参加 10 発表 10	
2018. 7. 20	第××回 日本周産期・新生児医学会学術集会 第××回 日本周産期・新生児医学会学術集会 所属 〇〇〇病院 氏名 周産期 花子		
2019. 7. 19	第〇×回 日本周産期・新生児医学会学術集会	参加 10 発表 10	
2017. 1. 22	第〇〇回 周産期シンポジウム 第〇〇回 周産期シンポジウム 10 単位	参加 10	
2018. 8. 10	第〇〇回 日本小児科学会 学術集会 第〇〇回 日本小児科学会 学術集会		参加 5
2019. 8. 6	第〇×回 日本小児科学会 学術集会 第〇×回 日本小児科学会 学術集会		参加 5
2020. 5. 9	日本小児科学会 地方会 第〇〇回 日本小児科学会 地方会 参加証明書		参加 2 発表 2
2018. 4. 2	第〇〇回 日本産科婦人科学会 学術集会 日本 一郎		参加 5
		計	50 単位
	合計		19 単位
			69 単位

発表した場合は抄録のコピーを添付する

参加証がない場合はネームプレートのコピーでも可

参加証がない場合でも発表していれば抄録のコピーで可

参加証紛失の場合は上席者の署名が必要

### 【記載上の注意】

1. 参加証を紛失し学会での発表がない場合は、開催年月日、学会または研究会の名称、単位を記載し、上席者の署名を得る。e 医学会のマイページの単位取得ページのコピーでも可。その場合は、上席者の署名は不要。発表した場合は、抄録のコピーを添付する。スペースが足りない場合はコピーして使用する。

※第 38 回周産期学シンポジウム(2020 年 2 月開催)の参加証明は参加証と出席証明書のいずれも提出が必要。

## 専門医資格更新認定試験申請書類チェックリスト

下記の書類がすべて揃っているか、申請書類作成後チェックリストでご確認のうえご郵送ください。  
**(このチェックリストの提出は不要です)**

すべて専門医認定委員会の承認が必要となる		
書類	必須：○ 任意：△	チェック欄
1. 専門医資格更新認定試験申請書	○	
2. 診療実績報告書	○	
3. 研修単位となる業績一覧		
1) 取得単位集計表	○	
2) 学術集会参加記録簿	○	
3) 学術論文刊行記録 (単位として申請する場合のみ提出)	△	
4) 新生児蘇生法講習会インストラクター記録簿 (単位として申請する場合のみ提出)	△	
医師免許証（医籍）のコピー	○	
日本小児科学会または日本産科婦人科学会専門医認定証のコピー (現在有効)	○	